



杵岐高便り

第186号

発行責任者
濱野 正義



携帯
サイトへ

長崎県立杵岐高等学校

[TEL]0920-47-0081

長崎県杵岐市郷ノ浦町片原触88

[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言



「置かれた場所で咲きなさい」

校長 濱野 正義



この4月、4年ぶりに杵岐高校に戻ってきた私の最初の仕事は、校門の掲示板に載せることばを考えることでした。4月からの生活に不安と期待でいっぱいであろう127名の新入生と、令和3年度の人事異動で杵岐の島に足を踏み入れることとなった新転任の先生方14名に対して贈ることばを。(もちろん、新2年生、新3年生、そして今まで本校を支えてきた先生方のことも考えて)

私の座右の銘「置かれた場所で咲きなさい(渡辺 和子)」ということば。

渡辺和子さんは、幼い時父親を亡くし、苦勞して大学まで行きましたが、その後いろいろな思いから修道院に入りました。それから36歳という若さで岡山県のノートルダム清心女子大学の学長に就任したのです。見知らぬ土地、考えてもいなかった役職、経験のないことの連続で、追い詰められ、毎日の業務から逃げ出したいと思って過ごしていたそうです。そんな時、疲れ果てた渡辺さんを心配したひとりの神父が、渡辺さんに1行のことばを書いた紙を渡しました。そこに書かれていたのが「置かれた場所で咲きなさい」ということばでした。

その時から、渡辺さんは変わりました。与えられた役職や仕事に対し、いつも不平不満を持ち、他人の評価や言動に振り回され、環境の奴隷となっていたことに気づいたのです。渡辺さんは考え方を変えました。今いる場所で、自分らしい花を咲かせようと。

生きている「今」はもう二度と戻ってこない。やるべきことを精一杯やり、笑顔で自己肯定をする。もちろん笑顔になれない日もあるでしょう。そんな時は無理をせず、根をしっかりと張ればいいのです。失敗することも、後に美しい花を咲かせるための準備だったと考えればよいと、渡辺さんは綴っています。

皆さん、どうですか？

新学年でのクラス、部活動でのポジション、与えられた仕事の不満ばかり言っていないませんか？

他人からの評価ばかりを気にしすぎていませんか？

実行する前から「やれません」「いやです」と言うのが癖になっていませんか？

「置かれた場所で咲きなさい」

置かれたところこそが、あなたの居場所なのです

時間の使い方は そのまま いのちの使い方です

自らが咲く努力を 忘れてはいけません

雨の日 風の日 どうしても咲けないときは 根を下へ下へと伸ばしましょう

次に咲く花が より大きく 美しいものとなるように



第 3 学 年 よ り

74回生の集大成となる1年がスタートしました。

「笑顔で全員卒業」

「第一志望全員合格」

今年度はこの2つの目標を叶えるために、74回生の生徒・職員が一丸となって取り組んでいきます。

さて、4月の年度初めに大切なことは、この2年間続けてきた「挨拶、時間厳守、端正な容儀、言葉遣い」などの凡事徹底項目の継続と進化だと考えています。先日の学年集会では今年度のテーマを「美」として、「美しい言葉、行動、身なり、環境づくり」を進めていくよう生徒に伝えています。

保護者の皆様、ご多忙だと思いますが、今年度1年間、お子様の進路実現に向けて、共に歩んでまいりましょう。どうぞよろしくお願いいたします。



第 2 学 年 よ り

75回生の2年生としての1年が始動しました。新たな友人や教員との出会いがあり、生徒の皆さんそれぞれが希望に溢れていると思います。最初の学年集会で、生徒支援部や進路支援部より、**中堅学年としてあるべき姿や心構え**について話がありました。加えて、

“grit”という言葉を紹介しました。これは、「やり抜く力、粘る力」という意味です。物事に対して情熱を持ち、じっくり時間をかけて成し遂げることの大切さを象徴する言葉で、これは誰もが持ちうる力を表します。この一年間の取組が、次年度の進路決定に大きく影響します。生徒の皆さんそれぞれが“grit”を抱き、努力を重ね、進路実現が達成されることを期待しています。

保護者の皆様におかれましては、いつもご

支援いただき、有難うございます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。学年通信でもご紹介しましたが、75回生のアイディアから生まれた学年マスコット「るーりんといろー」もどうぞご愛顧ください。



第 1 学 年 よ り

76回生の皆さん、入学おめでとうございませう。希望に満ちた76回生の皆さんと一緒に吉岐高校で学べることを楽しみにしています。校内研修は「吉岐高生としての自覚を高め、高校3年間における自らの目標設定の礎となる研修とする」を目標に取り組みできました。学年集会、教科オリエンテーション、グループワークを通して、吉岐高生としての自覚が見え始めました。学年スローガンは「**駆け上がれ！自ら創る夢舞台**」としました。将来の活躍の場を夢舞台と表し、その舞台に向かうための準備期間として、高校在学中につけておくべき力を自ら獲得できる生徒の育成を目標としています。

保護者の皆様におかれましては、日ごろから学校の対応にご理解いただき、誠にありがとうございます。生徒と保護者の皆様と学校の三者が一つになれるよう支援してまいります。

入学式

職員紹介



オリエンテーションの様子



新転任者紹介

濱野正義 校長 県庁高校教育課より		谷川由佳 事務長 諫早東特支学校より	
五貫研司 美術 佐世保北高校より		片山直子 国語 北松農業高校より	
近藤弘昭 英語 長崎東高校より		相川真太郎 数学 長崎南高校より	
野本康彦 国語 上五島高校より		星田新一郎 英語 諫早高校より	
安永美砂 国語 西陵高校より		松本未来 理科(化) 長崎西高校より	
前田祐作 地歴・公民 佐世保商業高校より		岳野輝生 数学 長崎明誠高校より	
茂 沙織 保健体育 有喜中学校より		浦川和泉 英語 新任	
吉牟田夢路 事務 港小学校より		川上拓海 事務 新任	

5月行事予定 ①1年 ②2年 ③3年

※4月23日現在の予定です。

1	土	両校戦	
2	日		
3	月	【憲法記念日】	
4	火	【みどりの日】	
5	水	【こどもの日】 学校開放	★
6	木	LHR (部活動休止～5/11)	
7	金	尿検査(予備日)	SC
8	土	学校開放	★
9	日	学年PTA 学級PTA	
10	月	【代休 5/9】	
11	火	中間考査 ②③ 夏服販売①	SSW
12	水	中間考査①②③ 容儀指導	
13	木	高総体前【短縮】 教育心理検査①	
14	金		SC
15	土		
16	日		通
17	月	内科検診③ 吉崎高寺子屋②	
18	火		
19	水	内科検診③ 文理選択説明会①	
20	木		
21	金	耳鼻科検診① NHK杯高校野球地区大会	SC
22	土	学校開放 県総文祭連合音楽会 公務員模試③	★
23	日		通
24	月	生徒評議員会 内科検診①	SSW
25	火	眼科検診① 体育部主将会	
26	水	内科検診①	
27	木	行進練習 LHR(第1回生徒総会)	
28	金	第1回英検1次(放課後)	SC
29	土		
30	日		通
31	月		



各分掌から

生徒支援部より

生徒支援部は、生徒指導、生徒会・美化、保健相談等の支援を行います。全ての生徒が心地よく生活でき、進路実現の礎となる規律ある環境の充実のため、時には厳格な激励と時には暖かい支援を目指して指導を行っていきます。

生徒一人ひとりが**魅力溢れる人物へと成長し、落ち着いた学校生活を送ることが**できるように、より良い環境作りや行事に取り組んでいきます。また、感染症予防対策については、県や関係各所と密に連携を取りながら、全職員一丸となって取り組んでいきますので、保護者の皆様におかれましても、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

いかなる社会であっても、人と人の繋がりは大切です。縁あって集まった全ての杵岐高生が思いやりの気持ちに溢れ、いっそう「**愛される杵岐高、応援される杵岐高**」となるべく生活してくれることを願っています。

どんなに時代が変わっても、子ども達の若さ故の未熟な言動や行動には、周囲の大人の支援や指導が絶対が必要です。ご家庭でも温かなご対応をお願いします。

進路支援部より

進路支援部は、進路指導、図書、研修等の面から支援を行っていきます。よろしく願います。

1学期は、1年生は文理選択、2年生はコー

ス選択、3年生は進路志望の決断と、自身の進路を決定する時期です。適宜、情報提供を行っていきますので、保護者の皆様も進路意識を高めつつ、お子様の考えを聞き、ときに問いかけて、共に進路志望を考えていただきたいと思います。

どのような進路志望においても、「**学力**」と「**自分ごととして考える力**」が求められていると感じます。昨年度始まった「**大学入学共通テスト**」では、自らが得た知識を活用して新たな問いに向かう学力が求められていると感じます。また、面接試験では、自分が何を考えつつ諸活動に取り組んだか等、「**自分ごと**」として**語る**ことが求められています。

常に自分の考えを持って諸活動に励み、自らを鍛え、充実した1年間になることを期待します。



東アジア歴史・中国語 コース

今年は離島留学生が11名、杵岐島内出身生が2名、計13名の新入生を迎え、第1回東アジアコース交流会をしました。各学年2名ずつ程度の小グループを作って、お互いに自己紹介を行い、新入生の様々な不安を取り除くアドバイスなどを行いました。2・3年生が1年生をサポートする中で親睦を深めると同時に、2・3年生も上級生としての自覚が芽生える成長の機会になったと思います。今年も学年の垣根を越えて取り組める、東アジアコースならではの様々な企画を実施していきます。



～ Shane先生コラム ～

It is the start of the new school year! This month, I would like to talk about some of the differences between American and Japanese high schools. First, our school year starts in August and ends in May. We have a three-month summer vacation. From May to July, teachers and students do not come to school. I love it. In Nagasaki, each new year has many new teachers, because they transfer schools. In America, transferring is very rare. Teachers usually will work at one school for most of their career. Although I often miss the teachers who leave, I think that this system is fairer to students. Anyways, let's do our best this year!

